

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 平成16年住職年頭挨拶



### 申 謹賀新年

「思うに希望とは、もともとあるものとも言えぬし、ないものとも言えない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」

ろじん

魯迅『故郷』より

あなたにとっての希望とは何でしょうか？進むべき道とはどういったものでしょうか？

新しい年が始まりました。慢心・妥協することなく日々

### 主な目次：

新年年頭挨拶	1
年回表一覧	1
仁叟寺通信-7-	2
龍源寺探索-6-	2
施食会などについて	3
特別寄稿	4
行雲流水（編集後記）	4

是精進。自分の道をしっかりと見据えて、歩んでいきましょう。

龍源寺御本尊様の深い御慈悲と御加護の下、檀信徒及びご縁に繋がる皆様方のご健勝とご多幸を御祈念申し上げます。

### 平成16年 龍源寺年間行事予定

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3～1/4 年始挨拶
- ※2/3 節分会
- ※2/15 涅槃会
- 3/18～3/24 春彼岸
- 3/23 旧蚕影山大祭
- ※4/8 花祭り
- 4/29 大施食会法要  
兼修蚕影山大祈禱会
- 7/12～7/16 景外檀信徒棚経
- ※7/23～7/24 子供禪の集い
- 8/13～8/16 お盆
- 9/20～9/26 秋彼岸
- ※12/8 成道会
- ※12/31 除夜祭
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定期坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室
- ※は本寺仁叟寺にて開催

## 平成16年年回法要一覧表

一周忌	平成十五年	二十三回忌	昭和五十七年
三回忌	平成十四年	二十七回忌	昭和五十三年
七回忌	平成十年	三十三回忌	昭和四十七年
十三回忌	平成三年	五十回忌	昭和三十年
十七回忌	昭和六十三年	百回忌	明治三十八年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認ください。

※2 該当檀信徒各家にはハガキにて通知が届きます。

## 住職結婚報告

去る9月28日（日）に、大学時代の恩師で  
ほかそのとよちか  
 ある外園豊基早稲田大教授夫妻を仲人に、仁  
そうりんじいしづきしょうけん  
 叟寺の御本寺・雙林寺石附正賢御住職を御  
 式師に拜請し、龍源寺の御本寺である仁叟寺  
 本堂に於いて結婚式を挙行いたしました。また、  
 引き続きサンコー72カントリークラブ  
 ホテルに於いて同結婚披露宴を無事行うことが  
 できました。

昨年来、この報告を当寺報「山雲水月」上  
 にて紹介いたしましたので、詳細は触れませ

んが、関係者各位並びに御臨席賜りました方々には改めて厚く御礼を申し上げます。

現在は夫婦共に龍源寺にて生活をしております。御指導御鞭撻のほど、宜しく御願い申し上げます。



式直前の様子

## 仁叟寺通信-7-

仁叟寺入口に祀られていた「白山妙理大権現」  
まつ はくさんみょうりだいこんげん  
こんびら しどう  
 様と「金毘羅大権現」様の祠堂が一新されました。白山様は寺域を守護する龍神です。また曹洞宗の開祖・道元禅師が留学先の宋から帰朝される  
へきがんろく  
 前夜、『碧巖録』の筆写を手伝い、一夜の内に、この権現の霊力をもって全てを書き写した、とされています。

寺域の守護は元より、水を司る龍神信仰と相成って白山様は信仰されておりました。是非、お参りください。



↑左 白山大権現 右 金毘羅大権現

## 龍源寺探索-6-

今回の探索は、当寺参道沿いに建立してあります「義民・白田六右衛門顕彰碑」についてです。この石碑は昭和63年（1988）3月、先代住職29世大顕啓司代に建立されました。

この白田六右衛門氏は江戸元禄初期の名主  
きぎん  
 で、当地域に飢饉が発生した際、その独断をもって蔵を開け倉米を配布。もちろん、当時の  
まぬが  
 違法行為であったため処罰は免れず元禄2年  
きゅうり ざんしゅ

（1689）5月4日、当寺胡瓜畑にて斬首されました。享年24歳。戒名は「一刀利切禅定門」でしたが、その後「寂室相空居士」に改まりました。現在でもここ多胡地域の義民として語り

→ 義民白田六右衛門顕彰碑



この顕彰碑の建立となったわけです。また、現在でもその子孫はその先人を精神的支柱とし供養を続けております。

当寺においでの際は是非、地域の偉人に感謝の気持ちを込め、ご参拝ください。

こかげさんあとちまえ

## 蚕影山跡地前の土砂などの処理の件

当寺の蚕影山前の墓地造成地が、地元地区すいりくみあいの水利組合（現在は解散）から共同利用のため置いていた排水溝などが十数年そのままになっております。また、墓地造成時の際の土砂もそのままとなっております。

そのため、総代長の宇佐美源吾氏はかが現状を憂い、檀家総代役員会に諮ったところ、撤去するという方向で決定いたしました。現在、複数の企業に見積を出して頂いているところです。費用も多少かかるかと思われませんが、実際に見積が出て具体的な数字が分かりましたら、今年4月29日（予定）に行われます大施食会及び蚕影山大祈禱会の折に発表させていただきます。

いただきます。

現在、寄付などを募る予定はありませんが、協力できる方は是非とも宜しく御願いのほど申し上げます。また、その墓地造成地に墓地の購入を考えている方などおられましたら、当寺までご連絡下さい。



↑ 産廃と土砂の堆積した蚕影山下地域



← 蚕影山大祈禱札

## 蚕影山大祈禱会の申込について

毎年3月23日に行われる当寺恒例行事『蚕影山大祭』が昨年より変更になり、蚕影山本尊様を本堂にご移転いたしました。今年は昨年と同じくみどりの日の4月29日（予定）に行われます大施食会の際に蚕影山大祈禱会を

併せて行う予定です。

去年と同じく、檀信徒の皆様には同式の前に通知及び申込書を送付いたしますので、希望者は願文などを記載しお申し込みください。費用は木製御札1柱¥2,000-です。また、昨年申し込まれた方の御札は、当寺にて責任を持ってお焚き上げいたしますので、古い御札はその際に御持参ください。

なお、大施食会法要並びにその後の檀信徒総会及び檀信徒会館でのふるまいは例年通りです。宜しくご参加の程、御願ひ申し上げます。

## 群馬県曹洞宗青年会役員を拝命

群馬県内の40歳以下の曹洞宗若手僧侶の集まりの会があります。

それが、群馬県曹洞宗青年会ぐんそうせい（略して群曹青）です。会長は沼田市じょりんじ舒林寺の天野純一副住職で現在会員数は約100人。坐禅会をはじめとする教化活動、SVA（社団法人シャンティ国際ボランティア会）を中核とした奉仕活動など精力的に活動しております。

この度、不肖ながら広報副委員長の配役を、また同時に役員も同じく拝命いたしました。禅語にある「任に当たって他に譲り難し」の精神で更なる精進を目指す次第であります。



とくべつきこう さんぜんしゃ よりいまち かみおかけんじし

## 特別寄稿 (参禅者 寄居町 神岡健司氏)

きほう

既報であります。御本寺・仁叟寺の坐禅堂で毎週水曜日午後7時から行っている定例坐禅会も早いもので丸2年の月日が経とうとしております。今回は、その坐禅会に第1回目から参加修行している神岡健司氏に坐禅についての文章を書いて頂きました。以下、御紹介いたします。



仁叟寺定期坐禅会の様子

「静と動、相反するものが一体となることを感じます。毎週水曜日の夜に45分くらい座り続けて9ヶ月（※寄稿があったのは昨年12月8日）経ちます。いつも仕事帰りに立ち寄り、疲れている時や都合の悪い日も幾度かあって座れなかった時もあったけれども龍道副住職の温かい御指導のお陰でここまでやってこれました。この場を借りて感謝申し上げます。なぜ坐禅をするのかと聞かれますが、実際のところ自分でも良く分かりません。というより、坐ることの

意味をよく考えたことがないからです。何故、考えないかといいますと、回答が出ないからです。普通は何かを実践するとき、目標や目安を立てますが、坐禅に関してはそういったものがないからです。逆に言えば答えが出ない、だからこそそこに意味があるような気がいたします。答えや目標に捕われない何も制約されない自分がそこにいるのです。平成14年12月8日成道会 記」

埼玉県は寄居町より毎週坐禅会に参加している神岡さんの禅についての想いです。現在の坐禅会は榛名高校野球部はじめ常時50名ほどの参加がありますがこの文を書いて頂いた1年前は、私と2人で座ったこともよくありました。何も捕われない自分、何も捕われない心…そんなことを考える時間が週に1時間ほどあってもいいのではないのでしょうか？

## 行雲流水(編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

明けましておめでとうございます。本年も宜しく御願ひ致します。

昨年の「山雲水月」秋号は当方の都合により休ませていただきました。この場を借りてお詫び申し上げます。

また今回の寺報では初めて寄稿文を掲載させて頂きました。もし、読者の方で載せて頂きたいこと、紙面編集などについて

のアイデアなどございましたら、遠慮なく龍源寺住職まで御一報ください。

今年は雪も降らず例年より温かく過ごし易い冬になりました。しかし、サーズをはじめインフルエンザなどの感冒は年々増加傾向だという話もあります。皆様におかれましても、どうぞお身体ご自愛のほど。

